

琉球大学学術リポジトリ

屋久島におけるヤマトジャノメグモ（クモ目：コガネグモ科）の国内47年ぶりの記録

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学資料館 (風樹館) 公開日: 2018-03-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 馬場, 友希, 須黒, 達巳, 山内, 健生, Baba, Yuki G., Suguro, Tatsumi, Yamauchi, Takeo メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/38691

屋久島におけるヤマトジャノメグモ（クモ目：コガネグモ科）の国内47年ぶりの記録

馬場友希^{1*}・須黒達巳²・山内健生³¹〒305-8604 茨城県つくば市観音台3-1-3 国立研究開発法人 農業環境技術研究所 生物多様性研究領域²〒240-0026 神奈川県横浜市³〒669-1546 兵庫県三田市弥生が丘6丁目 兵庫県立大学自然・環境科学研究所/
兵庫県立人と自然の博物館

要旨. 鹿児島県屋久島の愛子岳の原生的照葉樹林において、国内でこれまでオス成体1個体、メス亜成体1個体のわずか2例しか採集記録のないヤマトジャノメグモ *Anepsion japonicum* (Bösenberg & Strand, 1906) のオス成体の標本を47年ぶりに得た。

記録

ヤマトジャノメグモ *Anepsion japonicum* (Bösenberg & Strand, 1906) は、佐賀県産のメス亜成体の標本に基づいて記載されたコガネグモ科 (Araneidae) のクモで、近年、中国やタイを含むアジアの熱帯地域にも分布することが

確認されたが (Chotowong et al., 2013)、国内ではこれまでに基準標本と1959年に鹿児島県大隅半島南部で採集されたオス成体 (Yaginuma, 1962) のわずか2例しか採集記録のないきわめて珍しい種である。この度、筆者らは、屋久島における節足動物相調査の際、国内で47年ぶりとなる本種のオス成体を採集したので、貴重な採集記録としてここに報告する。

節足動物の捕獲調査には、口径36cmの黄色いバケツ部分の上に透明なアクリル製衝突板を十字に組んだIBOY式ウインドトラップ(透明衝突板付き黄色バケツトラップ)を用い、地上30cmの高さに設置した。バケツ部分には水1.5lと界面活性剤として中性洗剤約10ml、

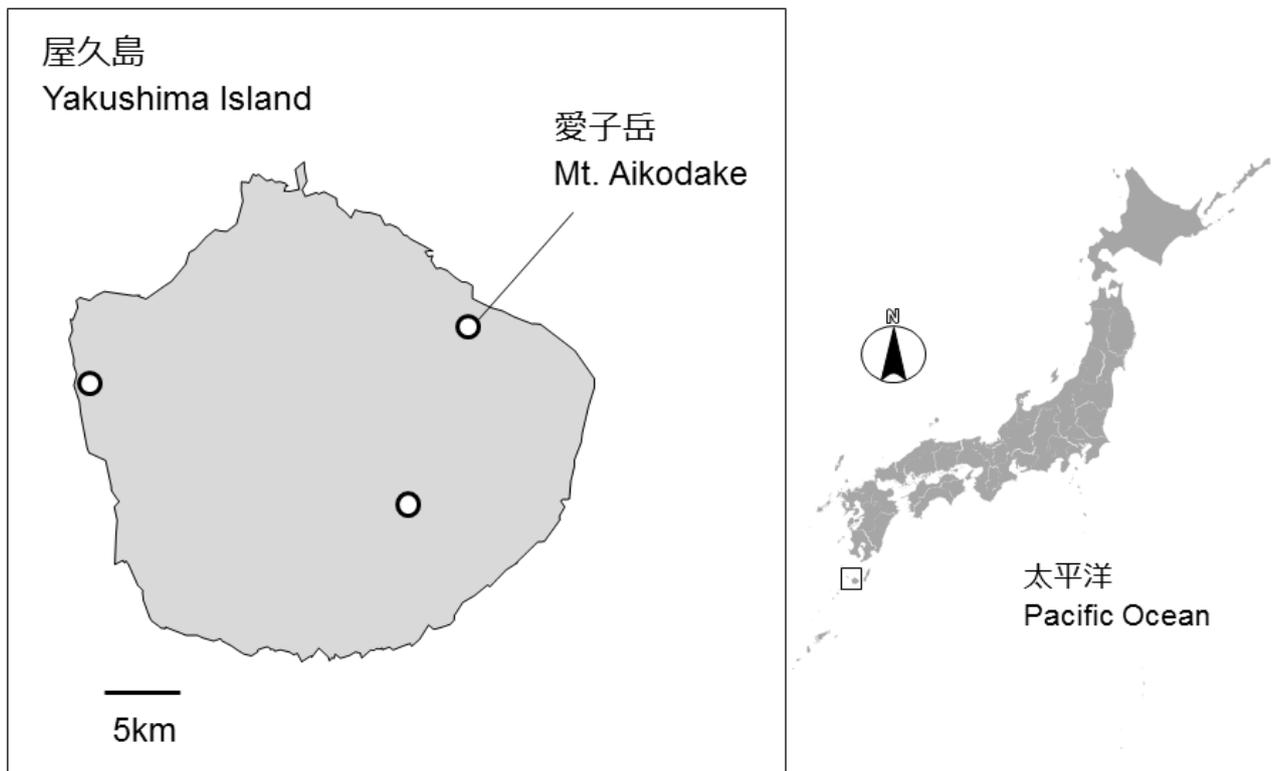


図1. 屋久島における衝突版トラップの設置箇所とヤマトジャノメグモの採集地点。

Fig. 1. Map of Yakushima Island showing where collision traps were set and *Anepsion japonicum* (Bösenberg & Strand, 1906) was collected.



図 2. ヤマトジャノメグモのオス成体の背面図. スケール=1 mm.
Fig. 2. *Anepsion japonicum* (Bösenberg & Strand, 1906). Male, dorsal view. Scale=1 mm.

さらに試料保存のため約 10 % 酢酸水溶液を加えた. これらのトラップは, 2006 年 7 月から 2008 年 2 月までの各月の後半 3 日間に, 島内の 3 地域に 15 機が設置された (山内・久松 2013; 山内 2014). 本種の標本は屋久島の東部に位置する愛子岳の原生的照葉樹林 (標高 170 m) から得られた (図 1). 詳細は以下の通りである.

1♂ 19-22. July. 2006 屋久島 愛子岳. T. Yamauchi et al. leg.

得られた標本は劣化が進んでいたが (図 2), 種の識別点となる触肢の保存状態は良く, その形態的特徴から本種であることが確認できた (図 3-4). 島内の複数箇所に一年半にわたってトラップが設置されたにも関わらず, わずか一個体しか得られなかったことから, 本種の生息密度はきわめて低いか, もしくは衝突板トラップでは捕獲されにくいと考えられる. 一方, 本属

のクモは, 体長 2-4 mm と小さいものの, 原生林・二次林の林縁など比較的目的立つ場所に円網を張る (馬場 個人観察). そのため, 仮にヤマトジャノメグモの個体群が国内で維持されているのであれば, これまでにより多くの目撃例や採集例があっても不思議ではない. 本種の分布の中心が熱帯地域であることを考慮すると, 日本には定着しておらず, バルーニング等で大陸から長距離飛来してきた個体が偶発的に捕獲された可能性も考えられる. したがって, 本種の国内における生息実態を明らかにするためには, 追加個体の採集や繁殖の有無の確認が不可欠であり, 今後も生息が確認された地域を中心に継続的な捕獲調査をおこなう必要がある.

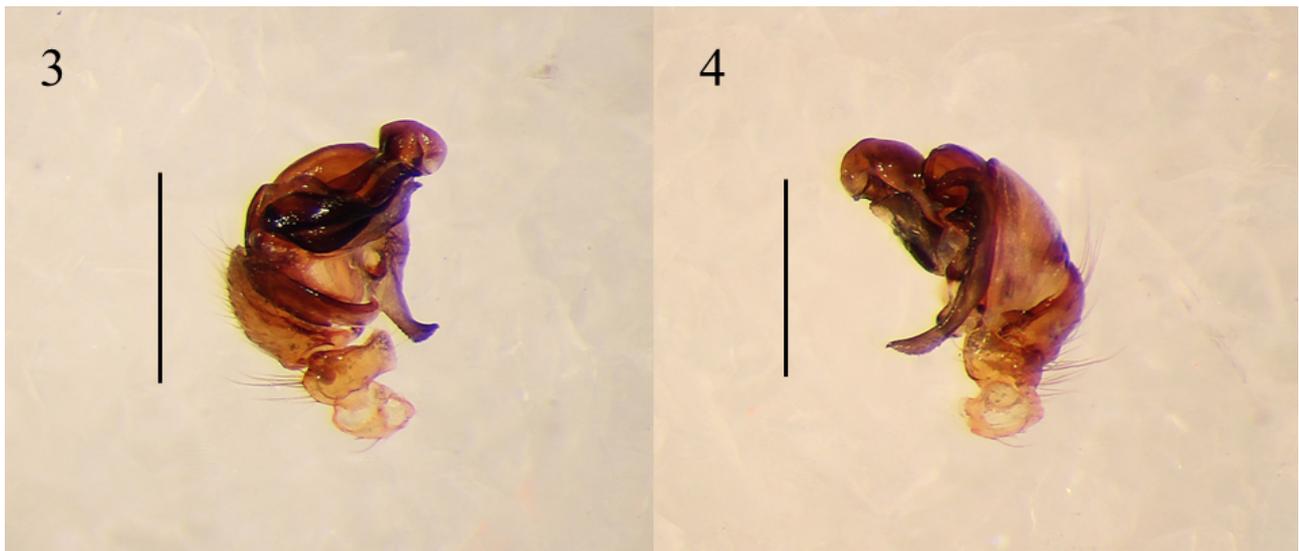


図 3–4. ヤマトジャノメグモ 3, オス左触肢 腹面 ; 4, 背面. スケール=0.5 mm.

Figs. 3–4. *Anepsion japonicum* (Bösenberg & Strand, 1906). 3, male left palp, ventral view; 4, dorsal view. Scales=0.5 mm.

謝辞

トラップの設置に協力していただいた相場慎一郎准教授 (鹿児島大学), 辻野 亮准教授 (奈良教育大学), 湯本貴和教授 (京都大学), サンプル回収に協力していただいた手塚賢至・多津子夫妻と斉藤俊浩氏 (ヤクタネゴヨウ調査隊), 標本の写真撮影に協力していただいた谷川明男博士 (東京大学) に厚く御礼申し上げます. なお, 本研究は, 総合地球環境学研究所の研究プロジェクト「持続的森林利用オプションの評価と将来像」の一部として行われたものである.

引用文献

- Bösenberg, W. & E. Strand, 1906. Japanische Spinnen. Abhandlungen der Senckenbergischen Naturforschenden Gesellschaft, 30: 93–422.
- Chotwong, W., A. Tanikawa, Y. Ikeda & T. Miyashita, 2013. Two spider species of the genus *Anepsion* (Araneae: Araneidae) from Thailand, with a note on the synonymy of *Anepsion japonicum* (Bösenberg & Strand 1906). *Acta Arachnologica*, 62: 89–94.
- Yaginuma, T., 1962. Spiders from Osumi Peninsula, Mt. Takakuma and Mt. Kirishima, Kyushu, Japan. *Miscellaneous Reports of the Research Institute for Natural Resources Tokyo*, 56–57: 129–136.
- 山内健生, 2014. 屋久島の原生的照葉樹林とスギ人工林において非誘引式トラップで捕獲されたカミキリモドキ類. *ペストロジー*, 29:

13–17.

山内健生・久松定智, 2013. 屋久島の原生的照葉樹林とスギ人工林におけるケシキスイ相. さやばね (ニューシリーズ), 11: 19–23.

A record of *Anepsion japonicum* (Araneae: Araneidae) from Yakushima Island, Ryukyu Islands, Japan, after an interval of 47 years

Yuki G. Baba^{1*}, Tatsumi Suguro² & Takeo Yamauchi³

¹Biodiversity Division, National Institute for Agro-Environmental Sciences, 3-1-3 Kannondai, Tsukuba-shi, Ibaraki 305-8604, Japan.

²Yokohama-shi, Kanagawa 240-0026, Japan

³Institute of Natural and Environmental Sciences, University of Hyogo / Museum of Nature and Human Activities, Hyogo, Yayoigaoka 6, Sanda, Hyogo 669-1546, Japan

*Corresponding author

Abstract. We collected a male specimen of *Anepsion japonicum* (Bösenberg & Strand, 1906) in the old-growth evergreen broad forest on Mt. Aikodake, Yakushima Island, Kagoshima Prefecture. This species had been previously collected from Japan only twice (1 subadult female and 1 adult male), and the present report represents the third record from Japan, after an interval of 47 years.

投稿日: 2015 年 10 月 5 日
受理日: 2015 年 10 月 17 日
発行日: 2015 年 12 月 13 日